

2015 - 16年度 RI テーマ



世界へのプレゼントになろう

Rotary International
国際ロータリー会長
K.R. ラビンドラン



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ベテランと若手の団結で
品格あるロータリー活動を!

第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB
●創 立：1973年2月23日
●会 長：上田 郁生
●幹 事：上山 惣太
●会報委員長：堀内 伸也

今週のプログラム

第2086回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「奉仕の理想」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 会務報告
「会長の時間」「幹事報告」
- ⑤ 委員会報告
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑥ 卓話
「次年度の為の地区協議会報告①」
鈴木 洋次年度国際奉仕委員長代理
森下 慶治次年度R財団委員長
桑田 タア子次年度米山奨学委員長
上田 郁生次年度クラブ研修リーダー
- ⑦ 閉会 点鐘

*4/16(土) 第2回クラブ社会奉仕委員長会議
於：薬業年金会館 601号室
登録 13:00～ 会議 13:30～16:00
森下今年度社会奉仕委員長
堀内次年度社会奉仕委員長 出席予定

来週の予定

第2087回例会 4月22日(金)

- ☆卓話「次年度の為の地区協議会報告②」
- 大松 桂右次年度職業奉仕委員長
堀内 伸也次年度社会奉仕委員長
高岡 正和次年度青少年奉仕委員長代理

前週の例会記録

2016年4月8日(金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備考
第2085回	28名	19名	70.4%	出席義務免除 4名(出3)
第2083回	28名	22名	84.6%	補 填 0名

ニコニコ箱

- 中澤会長エレクト、次年度の方針、期待しています。 上田 郁生会員
- 長く勝手しまして。筒井です。 筒井 重之会員
- 久しぶりに筒井さんにお会い出来てよろこんでいます。続けてお会い出来ますことを願っています。尚、結婚記念日のお祝いをいただきありがとうございました。 森田 時男会員
- 中澤会長エレクト、次年度の最良の方針、楽しみです。 奥田 長二会員
- 筒井さん、お久しぶりです。お元気そうでなにより嬉しいです。 桑田 タア子会員
- 筒井さん、お久しぶりです。お元気で何よりです。 森下 慶治会員
- 筒井さん、お久しぶりです。これから度々、顔を見せて下さい。
- 中澤会長エレクト、次年度よろしくお願ひします。 池本 繁喜会員
- 玉串川の桜も早、散ってきました。 浦本 修三会員

●早退させていただきます。

筒井さんの元気な顔、見られて嬉しいです。来週も
お顔見せて下さい！

長尾 穰治会員

●例会欠席のお詫び。

山田 哲男会員

●今回合計 12,000 円

◎累計 657,794 円

会長の時間

4 月は母子の健康月間です。2015 年、世界での 5 歳未満の子どもの死亡数は 590 万人にものぼります。1990 年には 1260 万人もの子どもが死亡していたことを考えるとかなり改善されていますが、それでも 1 日に 1 万 8000 人、時間にすると 4.8 秒に 1 人の割合で 5 歳未満の子どもの命がなくなっています。しかも先進国では簡単に防ぐことができる肺炎や下痢等の病で亡くなっているのが現状です。

妊産婦の死亡数も年間約 30 万人にのぼります。そのほとんどが出血多量や感染症といった、医療精度の低さが原因です。特にアフリカ中部・西部や、中近東では、1990 年からほとんど改善されていないのが現状です。

ロータリーでは、基本的な医療サービスや保健従事者を対象とした研修、母子の健康に関連した仕事の支援、水と衛生月間で取り上げた安全な飲料水への取り組みなど様々な支援をしていますが、まだまだ充分ではありません。日本では妊産婦の死亡率は 0.01 パーセントとほとんどなく、肺炎や下痢で子どもが亡くなるということもほとんどないため無関心になりがちですが、前述のように世界では多くの乳幼児や妊産婦が命を落としているのが現状です。

世界に目を向け、関心を持つことが大切ではないでしょうか。

幹事報告

①4/7 (木) に開催予定だった四輪会ゴルフコンペが雨のため、6/16 (木) に順延との連絡が届いております。再度参加者を募りますので、宜しくお願いします。

卓話

「次年度の会長方針」

中澤 剛会長エレクト



3/12 に参加しました P E T S (会長エレクト研修セミナー) において、松本進也ガバナーエレクトより次年度 R I 会長のジョン・F・ジャーム氏のテーマ及び第 2660 地区次年度の運営・活動方針のご報告をいただきました。

その報告とともに私の次年度の方針を述べさせていただきます。

☆国際協議会における次年度の協調点

・ロータリー財団 100 周年

100 年前の 1917 年にロータリー基金を提唱したことに由来しており、2016-2017 年度は祝賀の一年とし、ロータリー財団関連事業に注力

→ 過去最高額の寄付の奨励

・ポリオ撲滅

2018 年ポリオ撲滅目標 (現在世界でアフガニスタンとパキスタンの 2 か国を残すのみ) 達成されれば、人類史上撲滅された病としては、天然痘に続き 2 例目

・会員増強

単なる増強ではなく、リーダーとなりうるロータリアンを増やす事が肝要

☆2016-17 年度 R I 会長のテーマ

「Rotary Serving Humanity (人類に奉仕するロータリー)」

これは、要約すると「人類の奉仕」という大きな目標に向け、リーダーシップを持ちうる会員を増やし、ポリオ撲滅をはじめ「世界でよいこ

とをする」ため伝統を継承しよう。限界は無い。という事のように。

- ・ 111 年の歴史の中で、ロータリーは、多くの人に多くの意味を持つ
会員はロータリーを通じて記帳な経験をし、世界 34,000 以上のクラブのロータリアンが集う。集う一番の理由は最も大切な目標「奉仕」のためである
- ・ ロータリーの初期から「人類への奉仕」はロータリーの礎、主な存在理由
意義ある奉仕を行う最善の道はロータリー会員になることで、ロータリーには世界を変える力、ネットワーク、知識の結集がある
- ・ ロータリーの発展を望むなら全員が同じ方向に進まなくてはならない
クラブ・地区・R I のレベルにおけるリーダーシップの継続が重要で、単なるロータリアンの数ではなく、善き活動を多く実現させ、将来リーダーとなるロータリアンを増やすべき

☆2016-17 年度第 2660 地区ガバナー方針

「The Ideal of service (ロータリーの根幹精神)」

- ・ この言葉は、ロータリーの目的の第三項にも記載されており、会社における社と同様 2660 地区活動におけるすべての原点をこの言葉に集約して考え、この理念の浸透に努めて欲しいとおっしゃっています。
- ・ 日本のロータリーの祖である米山梅吉氏が、この言葉の日本語訳の際、「奉仕の理念」ではなく、「サービスの理念」とされた意を汲みこの原語をガバナー方針に採用したとの事です。
- ・ 「サービスの理念」の統一的理解の一節として、『人は社会からその恩恵を受け取ると同時に、自己の言動の成果を社会に提供し、還元してゆく社会的責務がある。この自覚の上に立って、社会に向けて具体的な行動を行うこと。これを「サービス」という』との事です。

・ service という言葉は、日本語の「奉仕」で表される一方向だけの自己犠牲ではなく、還元してゆく社会全体を良質なものへ変貌させる意味を持つと説かれています。

☆2016-2017 年度 第 2660 地区具体的目標

1. 「The Ideal of Service」の基本理念の周知と実践
2. ガバナー月信のペーパーレス化による I T の促進
3. ロータリー財団 100 周年、ポリオ撲滅
4. 戦略計画の推進 (会員増強)
5. I M再編成

☆2016-2017 年度の年次寄付等年間目標

1. 年次寄付 1 名あたり \$160
2. ポリオ撲滅 1 名あたり \$60 計\$220
3. ベネファクター 各クラブ 1 名
4. 米山奨学金 1 名あたり 30,000 円
5. 会員増強 1 クラブ純増 2 名

☆ロータリー財団 100 周年記念奉仕プロジェクトにおける留意点

- ・ 地区補助金、グローバル補助金を利用した奉仕活動の推奨
- ・ 全クラブ参加型の補助金利用 社会奉仕事業
クラブが独自で計画する活動とは別に、全クラブ参加型の補助金を利用した社会奉仕事業の提案あり
- ・ 特別月間 (財団関連 7 ヶ月) に地区委員会を卓話・フォーラムに招聘
本年度からロータリー財団の六重点分野が全て特別月間のテーマとなり、それを考慮して地区委員会に講演の依頼を推奨

☆八尾東ロータリークラブ 次年度会長方針

- ・ ガバナー目標に対して
 1. 「The Ideal of Service」の考え方を皆で意識し、様々なロータリー活動をすることで目標は達成できると考えています。
 2. 出来る限りペーパーレス化には、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

3. 100周年という事もあり過去最高の寄付額の目標を定めてもらっているものの、可能な限り努力するという努力目標に置き換えたいと思います。
4. 戦略計画については、必要であれば実行する事とし、会員増強については、無理な誘致は行わず、全会員が増強の意志を持ち、今までとおりにふさわしい方がいらっしゃれば案内するという形で良いと考えています。
5. IM再編については、正直なところわかりません。

・ 全員参加による年間活動

それぞれの委員長を中心に所属するメンバーがその方向性・内容を決定し、年間の活動を全会員で行っていただきたいと考えています。

それを実現する為に4/15、22、5/13の3日間で、現在予定されている「次年度のための地区協議会報告」をそれぞれの委員長に時間短縮いただき、残った時間で次年度の小委員会（分科会）を設けたいと考えています。

その小委員会において、次年度の活動計画の策定および決定に導いていただければと思っております。

・ 選択と集中

少人数クラブでもあり経済的な面からも様々な事業活動は難しいという事もあり、当クラブの身の丈にあったできる事を選択し、それを確実に遂行していただく事を期待します。

・ ベテランと若手の融合

ここ数年来、良い形となってきているベテランと若手の融合については、引き続き皆様でご協力願います。この融合無くして八尾東ロータリークラブの存続は無いと思っております。これを継続させる事が、会員増強（退会防止も含）に繋がるのではないかと考えています。



第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY